

KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2019. 秋 NO.59



☆ワーキングセンターいづみ☆
～日帰り旅行～

地域福祉の更なる発展

長かった夏の暑さもようやく終わり、少しずつ秋の気配を感じる好季節となってまいりました。

いづみ福祉会では、相楽東部唯一の障害者施設として、また地域の障害者福祉向上の総合センターとして、多くの事業に取り組まれている事に対して、心から敬意を表します。

さて、新しい年、令和の時代を迎え、地域福祉が重要であり、更なる強化が必要となっています。

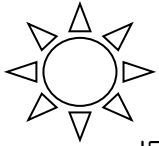
政府は、消費税引き上げと同時に社会保障の充実をうたい文句にしていますが、高齢者や障害者に対する福祉施策は一向に良くなっていきません。それどころか今以上に不安と不満が増幅しています。我々地域福祉に携わる者同士お互いに助け合いなが

南山城村社会福祉協議会 会長 安場 昭和

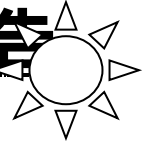
ら、地域の人が安心、安全に日常生活を送っていただくためには、関係するものが力を合わせて引き続き努力していかなければならないと考えます。

いづみ福祉会では、障害者の方々の生活を守り、不安なく日常生活を送られますように更に頑張ってくださいますよう、ご期待申し上げます。我々市町村社会福祉協議会も引き続き協力と支援をさせていただき所存ですので今後ともよろしく願い申し上げます。

最後にいづみ福祉会の更なるご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。



児童デイサービス 夏休み報告



児童デイサービスの一年で一番の楽しみと言えば、やっぱり夏休み！

児童の体調を考慮しつつ、プールに調理にお出掛け・・・と、たくさんの活動を行いました！「ホップ(学齢前期)」「ステップ(学齢中期)」「ジャンプ(学齢後期)」「わか(目的別療育事業所)」と各事業所の様子をご紹介します☆
(辻井)

☆ホップ☆ (学齢前期チーム)

ホップは「昼食作り」と「庭に大きなプールを出した水遊び」を中心に過ごしました。

調理では「焼きそば」「ハンバーグ」「おにぎり」「カレー」「ピザトースト」を作りました。巨大ハンバーグが出来たり、お好み焼きでは子どもたちのなかで「青のりたっぷり」がブームとなり、「俺もたっぷりだ！」とお互いに影響を受け合いながら、笑顔も多く見られました(*^。^*)

プールでは水鉄砲をスタッフに向けて、猛噴射！横を通るサービスセンターのスタッフに対しては「あの人は服を着ているから、水をかけちゃダメだね」とルールを学ぶ場にもなりました！



庭でのプール



ハンバーグ作り



喫茶フルーヴ



鉄板焼き

☆ステップ☆ (学齢中期チーム)

ステップは、「鉄板焼き」と「喫茶フルーヴに出掛けよう」をご紹介します。

鉄板焼きでは、各家庭より一品を持ち寄って調理を行いました。子ども達も「これは僕の玉ねぎ！」など、自分が持ってきた材料に誇らしげでした！「好きなものでも、みんなで分け合って、楽しい時間を過ごすことができていました☆

ワーキングセンターの「喫茶フルーヴ」では初めてホットドックを食べる児童もあり、戸惑いながらも、美味しく食べる事ができていたようです！

また、夏祭りのステップのお土産は「手作りうちわ」でした。当日、早速大活躍していました！

☆ジャンプ☆（学齢後期チーム）

ジャンプからは「スポッチャへ行こう！」をご紹介します！ボーリングに射撃にレーシングゲーム・・・と思いきり楽しみました。なかでも「初めてするわ〜！」と白熱する姿が見られたのが、ビリヤード。「キューの持ち方は？」から始まり、「こっちに打ったらいいんじゃないか？」「次は〇〇君の番やで！」とコミュニケーションを取りながら、真剣な眼差しがとても印象的でした。疲れたらリラックスルームで休憩を挟みつつ、きっちり3時間コースを堪能しましたよ〜。

最後は、『お肌ぶるるん、ちょっと美白になった』プリクラを撮って、記念に持ち帰りました（笑）



金魚ミュージアム



スポッチャ



茶団子作り



エコバック作り

☆わか☆（目的別チーム）

「高校3年」「地域小」など、曜日によってメンバーが大きく異なるわかでは、チームに合った様々な活動を行っています！「和束での茶団子作り」「ワーキングセンターでの染め体験」「たかっちゃんの紙芝居」「生駒ふるさとミュージアムでの勾玉作り」などを楽しみました。

茶団子作りでは、真剣な表情で15グラムずつ計る様子が見られ、抹茶・ほうじ茶・煎茶と3種類のお団子を手で丸めました！

夏祭りのお土産作成では、ひとつひとつ味味の違うエコバックも完成しました☆

☆合同プログラム☆

各事業所が交流するための合同プログラムも行いました。

当尾の郷会館では、毎年恒例の「いづみ夏祭り」と「水ロケット」を行いました。水ロケットは、参加児童全員のロケット全てが大成功！大空に舞いました！グラウンドを越えていく場外飛行も出ました（笑）



水ロケット



夏まつりポン菓子

ご協力くださったボランティアの皆さま、ありがとうございました。



「地域で暮らす」を考える

第1回 わたしの地域生活 ～ ガイドヘルプ編 ～

いづみ福祉会の経営理念に「地域社会」「地域とのかかわり」とのことばがあります。いづみがまだ共同作業所だった頃は地元の運動会に作業所として参加したり、夏祭りにご近所の方をお招きするといったように“団体”として物理的に「地域とのかかわり」を深めていた側面がありました。やがて時代が進み、福祉サービスが増え、少しずつ“個別”のニーズを満たせるようになった昨今、「地域とのかかわり」とはそれに加え障害者の方お一人お一人が街に溶け込むように暮らすことも含まれつつあるように思います。その暮らしを支えるサービスの一つに移動支援（ガイドヘルプ）事業があります。今回はサービスセンターいづみの移動支援事業についてご紹介します。

移動支援とは一人で外出されるのが難しい障害者の方に必要なサポートを行う事業です。現在サービスセンターの移動支援をご利用されている方は約50名です。

ご利用者によって行き先は様々で、定期的にスーパーなどへ日用品のお買い物に行かれる方もおられれば、映画やカラオケといった余暇活動を楽しまれる方もいらっしゃいます。なかには姫路城見物などかなりの遠出をされるケースもあります。

特に余暇活動は日々の生活にアクセントを加える意味でとても重要です。日常を少し離れることでリラックスしたり、新しい発見をしたり、ウキウキワクワクの感情が湧き上がることでありますよね？それは障害者の方も同じです。私たちはご利用者の安全に配慮しながら、いっしょに外出をエンジョイしてウキウキワクワクを共有することを心がけています。支援が終わって「今日は楽しかった！」と言って頂いた時は本当に良かったな～、と思います(^^)

実際に移動支援を利用しておられる住岡令子さんからお話を頂いていますのでどうぞ、お読み下さい！（サービスセンター 丸岡伸行）

それでは、実際にインタビュー・・・



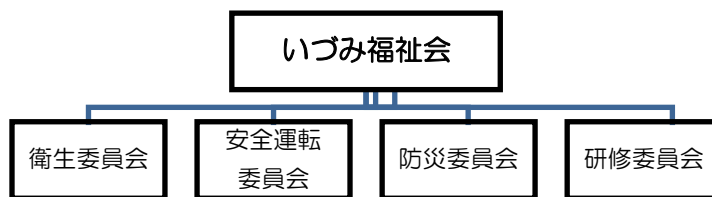
奈良のインターネットカフェのカラオケボックスで歌を歌ったり、踊ったり、調べものをしたり。調べたいことは「いづみのこと」「防水のDVDプレーヤーやCDプレーヤー」「今の地球から第2の地球にいつ移れるか」とか。調べるのが大好き！

一人では電車に乗れないから、昔は加茂の辺りを一人で歩いていた。今は移動支援があって、ヘルパーといろいろ出かけられるので、今のほうが楽しい！

いづみ福祉会 委員会 ～紹介リレーパート4～

今回は…研修委員会

現在、いづみ福祉会では、法人全体にかかわる問題について、事業所を超えて協議し、よりよく改善していくことを目指し、4つの委員会を立ち上げています。今回は研修委員会をご紹介します。…



● 2019年4月 研修委員会発足

今年度、新たに研修委員会が発足されました。発足以前もいづみ福祉会では『新採職員研修』『リーダー研修』『事業部専門研修』『人権擁護研修』等の研修が実施されており、これらの研修の企画・運営は、事業部の管理職が中心となり行ってきました。

今年度からは職員が日々の支援において必要と感じている学びを、より自主的かつ積極的に研修から得ることができることを目標に研修委員会が立ち上げられ、研修委員が企画・運営・実施していく研修が始まります。

● 委員会メンバー

事業部長、事業部次長に加えて各事業所群の観音寺（ワーキングセンター・総務）から1名、里（グループホーム、サービスセンター）から1名、加茂支所（地域活動支援センター、ちくたく）から1名、木津（児童デイ、相談支援センター）から2名の7名で構成されています。委員会では研修内容の真剣な話から、その時々職員の公私問わずのトピックスを話したり、日々の業務で感じていることを話し合ったりと…和やかな雰囲気です活動しています。

● 活動内容

5月から月に1回のペースで研修準備の会議が行われています。どのような研修がどの

職員階層に必要と感じるかを話し合ったのち、研修テーマを定め、職員のニーズに合わせた研修が実施できるよう、職員研修ニーズアンケートを行いました。各職員のアンケートの回答により、それぞれが参加する研修を決定しました。現在、テーマごとの研修担当で研修実施に向けて、打ち合わせを重ねています。

● 研修内容

研修内容は、以下の5つのテーマです。

- ①障害者福祉職員に必要なソーシャルワークの視点とは（ICFやバイステックの7原則との関連も合わせて）
- ②障害種別による支援の基礎知識（自閉症スペクトラムなど）
- ③障害種別による支援の基礎知識（精神障害について）
- ④ストレングスをもとにした「個別支援計画」の立案と「サービス等利用計画」をもとにした事業所間連携
- ⑤障害福祉制度（障害福祉にかかわる法律と制度について）です。

研修参加前に事前ワークで学びたいことを明確にし、研修で学び合い、研修で学んだことを現場の支援で具体的にどのように活かしていくか考える機会を持てるように計画をしています。これらを繰り返していくことで、支援のなかで、気づき喜び合える機会が増えたらと考えています。

（研修委員会 福尾陽子）

施設見学に行ってきました！

いづみ家族会 来住 育子



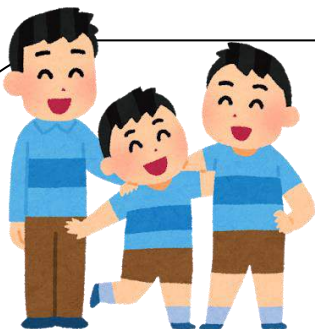
2019年7月23日に、2018年に竣工された八幡市の重症心身障害者地域支援施設の社会福祉法人ディアレスト、生活介護事業ほっとの見学会があり、家族会員13名が参加しました。

生活介護事業ほっとは、生活全般にわたって介護支援が必要な10代～50代の20名の方が在籍されています。運動機能の訓練やリハビリなど医療的ケアを中心に、生活リズムを作り、関わりの中で楽しさを感じられる毎日を目指して、日々取り組まれているそうです。

建物は定員20名と小規模ですが、廊下やトイレなど共有スペースも大きく取っており、全体的に明るく余裕があるように感じました。

また、この施設は、八幡市の福祉避難所として指定されており、避難所としての設備、食料などの備品も確保され、太陽光発電もあり、一部自家消費しているとの事でした。近年、地震や豪雨など自然災害が多発している事を考えると、必要な設備だと思いました。

見学後は、南山城学園系列「凜」が運営するレストランぶちぼんとで、野菜たっぷりのおいしいランチを頂きながら、感想などを話し合い、有意義な見学会になりました。



小中学生ボランティア体験

かもの恩返し 西嶋憲明

小中学生6人が、いづみ福祉会でのかもの恩返しのボランティア活動を体験してくれました。体験したのは、パワフル班のはがきづくり(紙漉き)、パッキンを10本束ねする作業でしたが、皆さんみんな、個性があって、それを認め合って協力して仕事をしていく様子に感動してくれていました。

ただ会話をすることが難しく、たくさんお話は出来なかったけど、職員の助けを借りて楽しく過ごすことができたようで、来年も活動したいと話してくれたことが大変嬉しかったです。

あと、何より嬉しいことは、小学生が体験した事が大人になった時、福祉につながるからです。かもの恩返しの活動がこれからも形は変わるけど、繋がっていくという夢を彼らが作ってくれていることです。

かもの恩返しのボランティア活動のひとつに、障がい者の方々が地域で生活できる社会の仕組み、例えば日々の生活の場の近くに、必要な支援、サービス提供があれば健常者と同じ生活ができます。この社会の仕組みづくりには、地域の皆さんに障がい者の方々を理解していただく事からやっていくことが重要だと思います。その活動のひとつとして、小中学生のボランティア体験学習はすごく良い事だと思います。ここで体験した小中学生が社会人になった時、学んだ事を生かして社会の活動に参加してくれると思います。



ワーキングセンター

草木染め販売会 案内

11月28日(木)～11月30日(土)
 1月12日(日)～1月19日(日) プチ販売会
 2月27日(木)～3月4日(水)
 3月11日(水)～3月18日(水)

場所：奈良町物語館
 時間：11時～17時
 ※土日祝日のみ 10時開店

～ 今年度の奈良町販売は冬にも開催を予定しています。幅広ショールやショール2枚づかいでオシャレに冬のコーディネートを楽しんでいただきたいです。クラフト商品で人気上昇中の2色染めショールは巻いたときの色の変化が美しく好評です。また、織りのネックストラップは他事業所の職員さんからも注文をいただくなど人気が広まってきています！丈夫で軽い優しい色がほっこり和ませる、ワーキングセンターのネックストラップをぜひお買い求めください♪(塚本)～

イベント販売会 案内

○11月3日(日) 木の津まつり
 ○11月17日(日) ふれあい広場 in かも

パン、ラスク、草木染め商品
 なべしきなど心を込めて作った
 商品を販売します♪♪

サービスセンター

～ 移動支援従業者養成研修実施を開催しました！ ～

9/28(土)と10/5(土)の二日間、移動支援従業者(ガイドヘルパー)養成研修の座学を行いました。本年度も華頂短期大学から武田康晴教授をお招きし、制度の現状や支援者としての倫理や態度に関する講義をお願いいたしました。大変分かりやすい貴重なお話をしていただき、感謝の限りです。その他障害特性や心理についての講義、事例紹介などの講義をいづみ福祉会の職員が担当し、予定のカリキュラムを全て修了しました。

高校生の方から今まさに福祉の現場で働いておられる現役バリバリの方など、幅広い受講者の皆様にはこれから実際の



文化センターでの受講の様子

支援現場で実習に入ってくださいます。皆様にとって今回の研修が充実したものになりますよう期待しています！

(丸岡伸行)

会費納入ありがとうございました！！



2019年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。

個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2019年6月1日～9月27日受付分）

地曳 高士	島川 文蔵	奥村 裕子	坂本 良子	林 和孝	馬場 正彦	魚島 和子	林 牧子	近藤 進一	伊藤 美恵子
船越 吉一	藤井 孝夫	来住 恒男	鈴木 秀年	藪本 知子	村木 定子	阪口 昌通	廣尾 操	近藤 満子	曾我 千代子
荒川 智行	藤井 章子	北川 幸子	福井 一義	北森 仁	山田 文諒	阪口 賀世	福井 博敏	遠藤 松子	西本 奈良重
荒川 正志	濃澤 昌子	坂本 利正	谷口 照子	森本 一子	脇 悦子	小林 文代	松吉 博子	村上 康行	松田 恵美子
小寺 栄子	岡田 敦子	坂本 良子	福田 道雄	北林 国子	村田 和子	金井 志奈	吉田 茂	村上 智乃	伊地知 文雄
土居 永法	稲垣 和三	杉本 清重	西田 衣代	倉嶋 光弘	山内 康司	川西 毅	生水 淳稔	丸岡 伸子	伊地知 節子
土井 正夫	岩田 君子	寺内 直子	松由 大	炭本 民子	山本 妙子	洞 正子	石井 理市	久保 恭子	大西 波久美
土井 信子	小松 泰子	西嶋 憲明	三好 徳子	西本 義尚	吉岡 克弘	小澤 邦三	濱野 陽子	崎園 邦子	藤村 富美子
土井 知恵	澤田 康子	新田 晴美	北森 博	林 毅	小川 りゑ	炭本 武	吉岡 菊子	新谷 隆一	坂口 美千代
大谷 儀嗣	須河 弘明	橋本 順夫	飯干 孝子	福岡 節子	鈴木 久代	姫野 忠之	石田 晴一	松岡 佳代	大久保 寿行
大槻 政美	橋本 洋一	松本 博司	稲垣 政子	和智 正治	住岡 晴美	沼田 和子	堀 啓子	南本 妙子	大久保 靖美
大槻 伸	橋本 さち	森川 護	大川 曠	和智ちさと	住岡 裕之	森山 章	井上 裕之	田崎 冷子	水無瀬 隆造
大森 貢	結城 英雄	森川ひろみ	大蔵 和子	大仲 順子	住岡 智美	三嶋 恵美	川口 和彦	石川 啓子	稲垣 きみ子
河原 宗弘	新井 真代	吉田 輝雄	大西 令子	川口 昌子	岩城 勝憲	佐々木 慧	小宮山 繁	吉本 玲子	藤村 富美子
國本 素子	大垣 啓子	渡邊かおる	河原 正子	北尾 政信	織田 広由	須河 大市	上田 繁夫	森嶋 光代	長谷川 秀俊
竹中 正春	大堀 人美	植村 陽子	小南 和子	北尾 清美	樋口 正雄	辻元 勝代	奥村 晃正	岡島 政彦	山岡 佐江子
松原 雅子	岡 照雄	川畑 國男	小南 和彦	谷本 悟	梶田 由美	村木 康二	黒田 和代	吉中 俊子	吉岡 久美子
青山まり子	林 知子	来住 洪一	林 良美	津山 時子	大谷 恭見子		大西燃料店		柳澤 サハ子
奥田 悟史	林 紹雄	来住 弘之	吉本 恵	前田 安廣	前田 眞佐美		株式会社 相楽清掃		須佐見ひとみ

* 郵便局からの情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

ご寄付ありがとうございました

いつみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。お名前をご紹介します。お礼に代えさせていただきます。（順不同） 2019年6月1日～9月27日受付分

高山純子様	小林廣司様	馬場達也様	福田直菜様	富岡由美様	林良美様	村上智乃様	廣尾操様
松原雅子様	坂本武博様	北尾政信様	森川ひろみ様	奥東義之様	河原凱栄様	稲田裕子様	上野元美様
林 毅様	馬場久代様	山田多賀子様	古川ひろみ様	岩井忠敏様	畑中純子様	石田明美様	荒川智行様
北林克仁様	石崎茂子様	南本妙子様	塚本好美様	杉山欽明様	澤吉祐美子様	濱名董子様	土井信子様
炭本範子様	阪田真有様	山岸陽子様	井水輝子様	南加茂台公民館様		鈴鹿市民生委員様	

現金、掃除機、ミシン、手芸用品、コップ、湯のみ、折り紙、クレヨン、絵の具、パズル、雑誌、冷却タオル、タオル、雑巾、紙パンツ、クッション、棚、ぬいぐるみ、ファイルケース、スリッパ、長靴、衛生用品、洗剤、ティッシュ、ラップ、お茶、コーヒー、お菓子、米、ボン酢、スイカ、梨、野菜（ミント、青じそ、サニーレタス、かぼちゃ、玉ねぎ、じゃがいも、ナス、キャベツ、きゅうり、冬瓜、しし唐）

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。

また、ご家庭に不用なフェイスタオル、ご飯茶わん、掃除機、食洗器、洗濯洗剤、マグカップ、お湯呑み、雑巾、ビーズ、長靴（大人用）、園芸用の肥料、園芸用の土、鍵付きキャビネットがありましたら、よろしくお願ひします。

編集 いつみ福祉会を守る会

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL:0774-76-7210 FAX:0774-76-0070

URL:<http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

連絡先 社会福祉法人 いつみ福祉会 内

《 編集委員 》

ボランティア団体:西嶋 いつみ家族会:青山

法人職員:辻井、森、大久保、丸岡伸、土井

1992年6月5日第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)
2019年11月8日 発行 KTK増刊通巻第4948号

発行人 京都障害者団体定期刊行物協会
高谷 修 〒602-1814

075-8222691
京都市上京区猪熊通丸太町下ル中ノ町519

頒価1000円
会員の購読料は、会費に含まれています。
京都社会福祉会館4階 京都難病連内